

## 現地見学会を行いました

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 水産土木チーム

2021年6月9日に小樽開発建設部と近藤工業(株)の協力のもと、当研究所の水産土木チームの研究員3名(梶原瑠美子、稲葉信晴、松本卓真)が古平漁港において根固方塊の製作や岸壁上部工の施工の状況など、漁港工事の様子を見る「現地見学会」を行いましたので報告します。

水産土木チームでは、藻場や魚介類の生息場・産卵場として必要な環境条件を解明し、漁港や港湾における構造物を生物の生息空間としてより利用し易くするための研究を行っています。本見学会では、普段なかなか見ることの出来ない海中設置前の構造物を間近で見ながら陸上でどのように進められるのかなどについて、工事実施中の現場を勉強させていただきました。当日は朝から天候に恵まれ、コンクリート打設も予定通り行われるとのことで、午前9時から見学を開始しました。小樽港湾事務所の第二工務課佐々木課長から事業概要について説明を受けた後、工事施工業者である近藤工業(株)の現場代理人である高良丞さんから工事概要の説明を受けました。続いて、コンクリー

ト打設を行っている最中の現場の足場の上り、根固方塊の製作について説明を受けるとともに、コンクリートミキサー車からクレーン機能付きバックホーに取り付けたホッパーを介してコンクリートを型枠に打設し、コンクリート表面を均し仕上げするまでの一連の作業を間近で見学し、根固方塊の製作過程を把握することができました。それぞれの作業過程についての丁寧な説明に加えて、工事中の留意点なども教えていただき、大変参考になりました。さらには、製作後にヤードに仮置きされている根固方塊や消波ブロック、コンクリート養生中の岸壁堤体上部工についても見学し、工事の進め方の理解が深まりました。

この日は、約3時間ほどの短時間の見学となりましたが、今後もこのような機会をできるだけ設けることにより、現場の声を反映させた、実用的な漁港や港湾における構造物の技術開発を目指した研究に取り組みたいと考えています。今回の見学会に協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。



工事の内容説明を受ける



根固方塊製作の足場の上って見学・確認



根固方塊のコンクリート打設作業



岸壁上部工の施工状況